

2. データ管理・統計分析システムPDA21の改良

金子隆一¹

はじめに

本事業の先行研究においては、21 縦断調査を中心にパネル調査のデータ管理・統計分析を効率的に行う支援システム PDA21 の開発を行ってきたが、本年度の事業ではこれをより実践的に行うための改良を行った。

パネル調査は同一対象(個人)を追跡しながら継続的に調査を実施するものであり、その有効性を十分に引き出すためには複数年次または複数の調査票のデータを同時に分析することが必須である。これはデータ管理や分析のためのデータ抽出に関して、横断調査よりも複雑で多くの操作を要することを意味する。したがって、パネルデータの真価を活かすには、大量のデータを効率的に管理、操作するための支援システムが必須となる。それは単にデータを保存・管理するためのデータベースではなく、データの更新から高度な統計分析に至るまでを連続的で円滑な流れとするような仕組みが望まれる。こうした要請に対し、本事業の先行研究においては、21 世紀縦断調査への応用を中心に、パネル調査データ一般に適用することを目指したデータ管理・統計分析システム(PDA21)の開発を行ってきた。それは大量のデータ操作に必要な各種のバッチの処理を自動化することによって、年々累積されるデータを統合して、あたかも一つのデータセットであるかのごとく扱うことの出来るシステムである。本年度の事業ではこれに以下のような改良を行った。

(1) 変数記述の管理シートの改訂

- ・ 総務省標準形式符号表への対応
- ・ CSV形式データへの対応
- ・ 不詳コード(V)への対応

(2) リレーショナル・データベースシステムの改善

- ・ 調査票別データ管理(PostgreSQL)と分析用データ自動生成システムの効率化
- ・ 統計パッケージプログラムの自動生成と実行の組み込み。

以下に、その概略を示す。なお、本システムの操作方法については、平成25年度総括報告書の「IV. 資料編 2. PDA21 データベースシステム簡易操作説明書サンプル」等を参照されたい。

1. システム開発の背景と概要

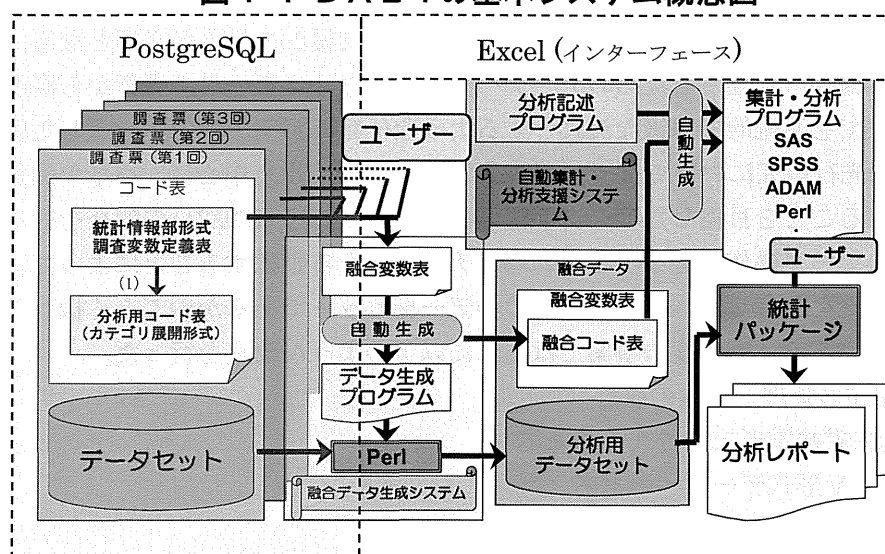
実地調査から得られた情報・データを管理するためには、次の情報を維持管理する必要がある。(1) 調査票上に記入された回答をコード化し電子媒体化したデータ本体、(2) 変数データの物理的配置を示したデータレイアウト表、(3) コードの意味を参照するための符号表(コード表)、(4) データ仕様・クリーニングルール表(および対処表)、(5) 自由

¹ 国立社会保障・人口問題研究所 副所長

回答等リスト、などである。横断調査においては、これらは個票を縦糸、変数を横糸とする2次元のキーにより関係させる。しかし、縦断調査においてはさらに時系列が加わり、3次元の関係を扱わなくてはならない。また、たとえば成年者縦断調査においては、単一の調査においても、男性票・女性票データセットを用いて夫婦単位の集計分析も行われるため、データセットの関係はさらに複雑なものとなる。これらひとつひとつに、上記の複数の種別のデータ情報が付随するから、もしそれらを別々の文書、あるいは磁気ファイルに散在した形で保管・維持するとすれば、毎回の集計分析に当たって必要なデータ情報を多数のソースから収集する作業が必要となる。それは調査の回数が増すに従って手に負えないほど煩雑な作業となるに違いない。

これらの課題に対して PDA21 は、リレーショナル・データベースとコード表を中心とした全データの一元管理を提案している。図1には、PDA21 の基本システムの概念図を示した。

図1 PDA21の基本システム概念図



調査データセット、ならびにデータセットに付随するコード表は、オープンソースのオブジェクト指向リレーショナル・データベース管理システム (ORDBMS)である PostgreSQL に格納される。これに対してユーザーは、Microsoft Excel をフロントエンドのインターフェースとして目的の調査票と変数を指定することで、分析用のデータセットを自動的に生成することができる。さらにこれと同時に分析用データセットの操作に必要な統計ソフトウェアプログラムが自動生成され、必要に応じて実行されるため、ユーザーは分析用データセットの存在すら意識することなく、分析結果を手にすることができる。もちろん、これにより複雑な分析用のコードを追加して、その結果を得ることも可能である。

この際に用いられる統計ソフトウェアは、特定の製品に限定されることなく、オープンな設計となっているため、モジュールを追加することによってその種別を増やすことができる。現在使用可能なものは、市販統計ソフトウェアとしては、SAS、SPSS、クロス集計ソフトウェアとしては、ADAM、また汎用のデータ処理ソフトウェアとしては、Perl などがある。また、C++ によるマイクロシミュレーションに対してもプログラムを出力することが可能である。

2. システムの変更

本システムについては、新たに生じた要請に応えるためいくつかの改良が必要となった。第一に総務省では官公庁において実施される統計調査の最適化事業を推進しており、個票データ管理についてもデータレイアウト標準記法の標準化などを各省庁に指導している。厚生労働省の実施する21世紀縦断調査においても符号表(コード表)に関してこの標準化方式が採用されたため、本システムにおいても符号表を扱う部分について、これを標準とするための改良を行った。新しい符号表方式では、扱っている情報やExcelシートを用いた表の成り立ちは従来21世紀縦断調査に用いられていたものとほぼ同一であるものの、不詳コードとしてアルファベット「V」を採用したためすべてのコードを数値ではなくアルファベットとして扱う必要が生ずるなど、技術的には比較的大幅な改良を加える必要があった。

第二に、一般の統計ソフトパッケージでは近年CSV形式でのデータ交換が一般的となっており、本システムもこれに対応することとした。CSV形式のデータファイルでは、各変数の所在はレコード上の位置ではなく変数の順序によって指定されるため、特定の変数値を取り出すためにはその変数の前にあるすべての変数を読まなくてはならない。従来のデータ管理においては、複数の調査票データを個票ごとに連結する方法を用いているが、調査回を重ねた現在では、こうしたデータファイルでは変数の数が数千をこえるものとなっており、これをCSV形式で扱う場合には、分析対象とする変数値を取得する際に、対象以外の膨大な変数についてもハンドリングする必要があるため非常に煩雑となる。したがって、調査票ごとに別々にデータを管理する本システムの方式は、いわば必須と考えられる。本システムでは、必要な調査票データを格納するデータファイルから、必要とする変数のみを取得して、自在に分析用データファイルを構成することができるため、CSV形式によって分析用ソフトウェア間でデータを交換する場合においては、いっそう効率化に貢献するものと考えられる。

その他、オペレーティングシステム変更にともなう改良、システムの効率化、ユーザインターフェースの改善、インストールならびに使用に関する説明書(マニュアル)の作成など、いくつかの実用上の改良を行った。

3. ユーザインターフェースの概要

本統計分析システムのユーザインターフェースによって、実際にどのように集計・分析が行われるかについて概要を説明する。集計・分析を行う際に中心となるのは、各調査で用いられる調査項目を一覧にした表、「調査項目表」(アイテム・ビューワー)である。「調査項目表」はExcelのシート上に、行方向に調査項目を列挙し、列方向に調査回を配して、各調査回における調査項目の調査の有無をその交差セルにおけるマークで示した表である。ユーザはこの表によって分析に用いる項目を指定する。図2(1)に出生児調査の例を示した。

図2 調査項目表（アイテムビューワ）の例：21世紀出生児縦断調査
(1) 第1階層

1	2	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
		出生児縦断調査、設問項目リスト(※)		Start	Run	出生届 (2001年)	第1回 (2001年)	第2回 (2002年)	第3回 (2003年)	第4回 (2004年)	第5回 (2005年)	第6回 (2006年)	第7回 (2008年)	第8回 (2009年)	第9回 (2010年)	第10回 (2011年)	項目番号	
2	(0)	出生票				●											000000	
41	(1)	家族・保育の状況					○										010000	
70	(2)	子どもの生活の状況					○										020000	
107	(3)	子育て状況・意識					○										030000	

図では、表側「出生児縦断調査、設問項目リスト」の欄に、(0) 出生票、(1)家族・保育の状況、(2)子どもの生活の状況、(3)子育て状況・意識、という4つの項目が見られる。これらは21世紀出生児縦断調査において調査されている項目を大分類したものである。当該調査で調査された項目はこの4項目の中のどれかに分類されている。図2において、表頭のラベルを見ると、「出生票」「第1回」「第2回」・・・「第10回」と、調査回のカラムが設けられていることがわかる（ここでの「出生票」は、出生届にともなう出生票を最初の調査回と見なし、これを指している）。表側「出生票」と表頭「出生票」の交差するセルに「●」の記号が見られるが、これは「出生票」に分類される項目が、調査回「出生票」にしか無いことを示す。図2(2)には、上記の項目表を、項目欄の第2階層が見えるように展開したときの様子である。大分類のそれぞれの中に、どのような中分類項目が含まれるが、一目でわかる。

図2 (2) 第2階層

1	2	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
		出生児縦断調査、設問項目リスト(※)		Start	Run	出生届 (2001年)	第1回 (2001年)	第2回 (2002年)	第3回 (2003年)	第4回 (2004年)	第5回 (2005年)	第6回 (2006年)	第7回 (2008年)	第8回 (2009年)	第9回 (2010年)	第10回 (2011年)	項目番号	
2	(0)	出生票				●											000000	
3		ID・OCR入力番号				●											000100	
6		届出提出				●											000200	
9		住所地				●											000300	
11		届出・性別				●											000400	
14		出生年月日時・場所				●											000500	
17		父母の生年月日				●											000600	
20		父母の年齢・国籍				●											000700	
23		父母の国籍				●											000800	
26		同居開始年月・期間				●											000900	
29		子の身長・体重				●											001000	
32		出生順位・多胎				●											001100	
35		妊娠期間				●											001200	
37		その他				●											001300	
41	(1)	家族・保育の状況				○											010000	
42		回答者・保育者・同居者・授乳				○											010100	
49		父母				○											010200	
56		兄弟姉妹				○											010300	
60		祖父母				○											010400	
63		住環境				○											010500	
70	(2)	子どもの生活の状況				○											020000	
71		性格・行動・性格				○											020100	
76		病気・怪我・事故				○											020200	
80		起床・就寝・食事				○											020300	
87		学校(通園)				○											020400	
92		通園方法				○											020500	
95		学習・習い事				○											020600	
96		学校以外での1日の勉強時間				○											020601	
97		家庭学習(宿題を含む)への関わり方(父母、その他の同居者)				○											020602	
98		読書習慣(1ヶ月に読んだ本の冊数)(子ども、父母)				○											020603	
99		習い事等の有無/内容/通園数				○											020604	
100		学校行事以外の体験(子ども、父母)				○											020605	
101		遊び				○											020700	
107	(3)	子育て状況・意識				○											030000	
108		子育て費用・負担感				○											030100	
109		過去1ヶ月にかかった費用(養育費・保育料・学校・習い事等)				○											030101	
110		過去1ヶ月にかかった費用の負担感				○											030102	
111		子ども手当				○											030200	
112		気をつけていること				○											030201	
117		しつけ				○											030300	
123		子育て意識				○											030400	
127		相談相手				○											030500	
130		父母の生活状況・かわり				○											030600	
142		自由記述				○											030700	

なお、図2(2)では、大分類「(2)子どもの生活の状況」の中の中分類項目、「学習・習い事」、ならびに大分類「(3)子育て状況・意識」の中の「子育て費用・負担感」がそれぞれ第3階層にまで展開されている。そこでは第3階層の最初の項目として「学校以外での1

日の勉強時間」が見え、その行を右に見て行くと、第7回から10回の列に●印が見られ、これらは、この調査項目の回答が第7～10回の調査で得られることを示している。

さて、この「調査項目表」(アイテム・ビューワー)は、分析対象の調査項目を選択するために用意されたものである。実際には必要な項目行をダブルクリックすると、その行が反転表示され、選択されたことを示す。図2(2)では5つの項目行が反転しており、選択された状態を示している。選択された項目は、リレーショナル・データベースを介して項目を構成する複数の変数に関する情報と、実際のデータが呼び出されるのである。すなわち項目(アイテム)とは、個人の属性など一定の意味的まとまりを持った事柄であり、分析の対象となるものを呼んでいる。これに対して変数とは、調査の設問に対して回答された事柄の最少要素を指す。たとえば、「生年月日」を問う設問が有った場合、「年号」「年」「月」「日」などの個々の回答(要素)は、変数であり、「生年月日」が項目である。また、「年齢」という項目は、「生年月日」と「調査年月日」という二つの項目からできていると考えることができる。こうした区別を行うのは、分析の際、生まれた時の「年号」「年」「月」「日」などをばらばらに用いることは希であり、「生年月日」として用いることが普通であり、したがって項目としてまとめて扱った方が効率的だからである。

また以上から明らかなように、項目には階層があり、選択の際には集合として選択することが出来る。図2の項目表の例では3つに階層化されている。図2(3)には最も細かな第3階層を示した(本項末尾には、付表として成年者調査(女性票)ならびに中高年調査の項目表を掲載した)。

本システムのユーザインターフェースは、この「調査項目表」(アイテム・ビューワー)を中心に行われる。図3にPDA21の作業環境の例を示した。これはユーザーが調査データの統計分析をしようとしている際の作業イメージであるが、左上に作業対象の項目などを選択・指定する「調査項目表」画面、その下には必要な調査原票などを参照する画面、右には作業内容や作業結果を表示する画面などに分かれている。これらはすべてExcel上に表示され操作されるため、扱いに際して特別な仕様や技能を要さない。

必要な項目をすべて選択し終わったら、画面上の実行ボタンをクリックすることでシステムに集計・分析開始の指示を与える。すると、システムはこの選択に含まれるすべての調査回、すべての項目に属する変数データをデータベース PostgreSQL より抽出し、これらによって一つの新たなデータセット(分析用一時データセット)を生成する。また、システムはこれと同時にデータベースから変数のコードに関する情報や分析用一時データセットにおける変数の位置情報をもとにして、この分析用一時データセットを集計・統計分析ソフトウェアに読み込んで、集計表を作ったり分析をするために必要な基本プログラムを自動的に生成する。

図2 (3) 第3階層

出生児縦断調査、設問項目リスト(※)	Start	Run	出生届 (2001年)	第1回 (2001年)	第2回 (2002年)	第3回 (2003年)	第4回 (2004年)	第5回 (2005年)	第6回 (2006年)	第7回 (2008年)	第8回 (2009年)	第9回 (2010年)	第10回 (2011年)	項目番号
(0) 出生票														
ID・OCR入力番号														000000
ID														000100
OCR入力番号														000101
届出提出														000102
届出年														000200
届出地														000201
住所地														000202
住所地														000300
届出・性別														000301
届出子・否の別														000400
性別														000401
出生年月日時・場所														000402
出生年月日時														000500
出生地														000501
父母の生年月日														000502
父の生年月日														000600
母の生年月日														000601
父母の年齢・国籍														000602
父の年齢														000700
母の年齢														000701
父母の国籍														000702
父の国籍														000800
母の国籍														000801
同居開始年月・期間														000802
同居開始年月														000900
同居期間														000901
子の身長・体重														000902
身長														001000
体重														001001
出生順位・多胎														001002
出生順位														001100
多胎														001101
妊娠期間														001102
妊娠期間														001200
その他														001201
世帯主の主な仕事														001300
立会者														001301
世帯フラグ														001302
(1) 家族・保育の状況														001303
回答者・保育者・同居者・授乳														010000
回答者(子どもとの続柄)														010100
子どもの保育者														010101
平日中の主な保育者														010102
子どもと同居している人・人数														010103
授乳の内容/期間														010104
父母														010105
子どもが生まれた後の父母の配偶関係/再婚父母の出生年月														010200
父母の最終学歴														010201
父母の現在の就業状況/企業規模														010202
父母の出生1年前の就業状況/企業規模														010203
父母の出生1年前の就業状況/企業規模														010204
(限定:現在常勤) 父母の育児休業取得の有無・月数/取得しない理由														010205
父母の最近1週間の家事・育児以外の労働時間														010206
父母の単身赴任状況														010207
兄弟姉妹														010208
兄弟姉妹/性別・出生元号年月														010300
前回調査以降の兄弟姉妹出生状況/性別・出生元号年月														010301
同居姉妹の末子年齢														010302
祖父母														010303
祖父母(父方・母方)との同別居/往來回数(別居の場合)														010400
祖父母(同別居にかかわらず)や近所の人との日常の関わり方/祖父母の子育て支援														010401
住環境														010402
住環境(地域)														010500
住居の種類														010501
現在の住居の広さ/出生1年前以降の転居・増築の有無														010502
過去1年間の住居の変化の有無/理由														010503
子ども部屋の有無/使用している人数														010504
家庭でのペットの有無・種類														010505
(2) 子どもの生活の状況														010506
体格・行動・性格														020000
現在の身長・体重/測定年月日														020100
行動														020101
性格														020102
携帯電話														020103
病気・怪我・事故														020104
過去1年間の病気やけがの内容														020200
過去1年間の入院の内容														020201
過去1年間のアセスメント(事故・転倒など)														020202
起床・就業・食事														020203
起床・就業時間(登校日・休日)														020300
おたんの食事時間(食事の様子(気がかり)														020301
朝食と夕食のとり方(だれと)														020302
食事(おやつ)時に気をつけていること														020303
昼寝時間/おねしょの有無/入浴時間														020304
夕食にどのような食事(平日・休日)(手料理・出前等)														020305
学校(通園)														020306
通園の状況/園にいる時間・通学の様子														020400
学校生活の様子														020401
学校との関わり(父母、その他の同居者)														020402
放課後の様子(誰と、どこで)														020403
														020404

そしてこのプログラムが実行されることによって、ソフトウェアが出力する目的の集計表や分析結果がユーザーに提供される。どのような集計や分析がなされるかについては、予め既定の動作を設定しておくことができるが、ユーザーが調査回、項目を選択後に、その動作を指定するプログラムを記述してシステムに渡すことによって柔軟な操作が行える。また、結果を得た後にプログラムを修正し、再度実行することによって、フィードバック的な作業が可能となる。

以上が本システムのユーザインターフェースによる一連の集計・分析作業の例である。従前のインターフェースでは、調査データの最小単位である変数を単位として選択していたが、これらを調査項目という概念で階層的に分類することによって、集計・分析対象選択時のユーザーの負担が格段に軽減したといえる。また、集計・分析に用いられるソフトウェアについては、現在市販のものを中心に用意されているが、標準的なものであれば接続モジュールを記述することによってどのようなものでも追加することが可能であるため、目的やユーザーの慣れや嗜好に合わせることができる。これらの仕組みによって、PDA21は初めての者から高度な統計分析を行う者まで、不要な負担なく縦断調査データの集計・分析を実施することが出来ると考えられる。

4. その他の改良について

今回はインターフェースに関しては、細部の調整により利便性を向上させるとともに、本システムのインストール、維持管理のためのマニュアル（平成 25 年度総括報告書の「IV. 資料編 2. PDA21 データベースシステム簡易操作説明書サンプル」に一部抜粋）を作成した。これによって 21 世紀縦断調査のみでなく、一般における応用の可能性が広がったと考えられる。

今後はインターフェースの改良のみならず、パネルデータの高度な分析法のプログラムを組み込むなどによって、21 世紀縦断調査データの統計分析の支援機能を高めて行くことが考えられる。

参考資料

総務省統計局(2006)「符号表及びデータレイアウトフォーム作成ツール説明書（第1版）」
<http://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/283520/www.stat.go.jp/info/guide/public/09/pdf/readme.pdf>

付表1 調査項目表 [アイテム・ビューワー] : 成年者調査 (女性票)

成年者縦断調査、設問項目リスト(女性票)		第1回 [2002年]	第2回 [2003年]	第3回 [2004年]	第4回 [2005年]	第5回 [2006年]	第6回 [2007年]	第7回 [2008年]
回答者	成年者縦断調査、設問項目リスト(女性票)							
出生年月日時・場所	出生年月	●	●	●	●	●	●	●
健康	過去1年間の健康の有無/入院期間	●	●	●	●	●	●	●
就職	現在の所得を伴う仕事の有無・兼業有無/就業形態/従業員数/職種	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎
	現在の勤め先開始時期/1週間の勤務日数・労働時間/1日の通勤時間/通学の有無	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	就職希望の有無/希望就業形態/就職活動の有無	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	就学後初めてついた所得を伴う仕事について (限定: 初めてついた仕事を現在離職した方) 離職した就業形態/就業していた期間	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	働くことに関する意識	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
学歴	最終学歴/卒業(中退)年号年月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	過去1年間の学業に関する出来事の有無/年月/学校	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
離職	過去1年間に所得を伴う仕事を辞めた経験の有無/離職した就業形態/就業していた期間	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	過去1年間に離職した理由	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
子育て支援制度	現在の勤務先での利用可能な子育て支援制度の有無(有・無給)/利用のし易さ (限定: 小学校1年生以下の子あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	現在の勤務先での過去1年間の子育て支援制度の利用有無/期間 (限定: 小学校1年生以下の子あり)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	現在の勤務先での過去1年間の看護休暇利用有無/日数	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
配偶者	過去1年間の配偶関係に関する出来事の有無/配偶者の出生年月/同居開始年月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	現在の配偶関係/配偶者の出生年月/同居開始年月 (限定: 配偶者なし) 今後の結婚意思	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(限定: 配偶者なし) 結婚後の就業継続の有無	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(限定: 配偶者なし) 結婚後の就業両立の障害の有無	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(限定: 配偶者なし) 結婚に対する(親・親族・上司・同僚・友人などの)期待度	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
家庭意識	家庭内での責任の所在意識(収入・家事・育児)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
子持つ意識	子どもを持つことに関する意識(子ども観) (追加) 予定子ども数	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	出産後の就業継続の有無	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	出産後の就業両立の障害の有無	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	子どもを持つことに対する(親・親族・上司・同僚・友人などの)期待度	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	現在の妊娠の有無	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
家事・育児	1日の家事・育児時間(平日・休日) (限定: 子どもあり) 子育て負担の有無 (限定: 配偶者と同居) ふだんの家事・育児の有無/負担軽減の程度	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
家族	同居人数	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	親との同別居(あなた・配偶者の) 子どもの有無/性別・出生元号年月/同別居の有無	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
住居	現在の居住状況/住宅の種類/床面積/居住室数	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	過去4年間の転居・増築の有無	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	過去4年間(各年11月時点での)居住状況/住宅の種類/床面積/居住室数	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
保育施設・サービス	同居している子どもについて /学童クラブの利用有無/就学前子どもについての利用保育施設/平日日中の保育者 現在の居住地域で利用できる保育サービスの内容	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
所得・児童手当・子育て費用	過去1年間の所得の有無・金額/所得の内容/児童手当受給の有無 (あなた・同居している配偶者) 過去1ヶ月の支出額/子どもの保育料・教育費/他の家族の支出との区分の有無	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
自由記述	自由記入欄	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

付表2 調査項目表 [アイテム・ビューワー] : 中高年者調査

中高年者縦断調査、設問項目リスト(※)	第1回 (2005年)	第2回 (2006年)	第3回 (2007年)	第4回 (2008年)	第5回 (2009年)	第6回 (2010年)	項目番号
(0) 中高年者要							000000
調査年	○	○	○	○	○	○	000100
調査番号	○	○	○	○	○	○	000200
KEY番号							000300
地区番号	○	○	○	○	○	○	000301
単位区番号	○	○	○	○	○	○	000302
世帯番号	○	○	○	○	○	○	000303
該当者番号	○	○	○	○	○	○	000304
配偶者番号	○	○	○	○	○	○	000305
性別							000400
生年月日	○	○	○	○	○	○	000500
年	○	○	○	○	○	○	000501
月	○	○	○	○	○	○	000502
(1) 調査票内容							010000
調査年	●	●	●	●	●	●	010100
回答者	●	●	●	●	●	●	010200
記入者	●	●	●	●	●	●	010201
性別・出生年月	●	●	●	●	●	●	010202
あなたの学歴	●	●	●	●	●	●	010203
配偶者							010300
あなたの配偶関係/同別居/介護の有無	●	●	●	●	●	●	010301
過去1年のあなたの配偶関係の変化	●	●	●	●	●	●	010302
配偶者の性別/出生年月	●	●	●	●	●	●	010303
配偶者の学歴	●	●	●	●	●	●	010304
配偶者の健康状態	●	●	●	●	●	●	010305
配偶者の公的年金受給の有無/受給額	●	●	●	●	●	●	010306
配偶者の過去1ヶ月の収入の有無/収入の内容/金額	●	●	●	●	●	●	010307
配偶者との日常過ごし方/時間*	●	●	●	●	●	●	010308
家族と同別居/介護・育児援助							010400
配偶者以外の同居者	●	●	●	●	●	●	010401
配偶者以外の同居者との関係/年齢/収入の有無/介護の有無*	●	●	●	●	●	●	010402
あなたの同居していない親族の有無(人数)/状況変化の有無	●	●	●	●	●	●	010403
同居していない親族のあなたとの関係/年齢/介護の有無*	●	●	●	●	●	●	010404
親族への介護・育児援助の有無	●	●	●	●	●	●	010405
親族への介護・育児援助/あなたとの関係/(介護・育児)時間	●	●	●	●	●	●	010406
同居していない親族への経済援助の有無/支援額	●	●	●	●	●	●	010407
健康							010500
健康状態	●	●	●	●	●	●	010501
現在の病気診断と病状(糖尿、心臓、脳卒中、高血圧、高脂血症、癌)	●	●	●	●	●	●	010502
過去1年の入院の有無(けが・病気による)	●	●	●	●	●	●	010503
過去1ヶ月の精神状態	●	●	●	●	●	●	010504
日常生活活動の困難の有無	●	●	●	●	●	●	010505
日常生活活動の困難の内容	●	●	●	●	●	●	010506
日常生活活動の困難の理由(原因)	●	●	●	●	●	●	010507
過去1ヶ月の通院・加療費用、健康維持費用の有無/金額	●	●	●	●	●	●	010508
飲酒の頻度/飲酒量	●	●	●	●	●	●	010509
喫煙の有無/喫煙本数	●	●	●	●	●	●	010510
日常の運動の有無/頻度	●	●	●	●	●	●	010511
過去1年の健診受診の有無/結果/結果への対応	●	●	●	●	●	●	010512
日頃の健康維持のための心がけ	●	●	●	●	●	●	010513
就業							010600
就業の有無/職業・従業員上の地位/職種	●	●	●	●	●	●	010601
就業日数・就業時間/通勤時間	●	●	●	●	●	●	010602
従業員規模	●	●	●	●	●	●	010603
就業についた年月	●	●	●	●	●	●	010604
定年制度の有無・定年年齢	●	●	●	●	●	●	010605
仕事への意識(満足度)	●	●	●	●	●	●	010606
勤務先の雇用制度の有無	●	●	●	●	●	●	010607
就業をしている理由	●	●	●	●	●	●	010608
(自営業の方)後継者の有無・状況	●	●	●	●	●	●	010609
(無職の方)就業希望/就業形態/就職活動の有無/活動しない理由	●	●	●	●	●	●	010610
職歴							010700
(働き方)職歴/職業/従業員規模/仕事分野	●	●	●	●	●	●	010701
過去1年間の離職の有無/就業していた期間/就業形態/離職理由	●	●	●	●	●	●	010702
資格・能力開発							010800
(過去1年間の)仕事のための免許・資格取得の有無/取得名称	●	●	●	●	●	●	010801
過去1年間の能力開発・自己開発の有無/方法	●	●	●	●	●	●	010802
生活設計							010900
現在・60歳以降の生活設計/年齢区分別の生活資金	●	●	●	●	●	●	010901
60歳以降の就業希望/就業希望年齢/就業希望形態	●	●	●	●	●	●	010902
社会活動							011000
日常の社会活動の有無/意識(満足度)/頻度	●	●	●	●	●	●	011001
過去1年間の活動の有無/回数/方法/地域/今後の意志	●	●	●	●	●	●	011002
住居							011100
現在の住居形態/住宅ローンの有無/過去1年間の住居の変化	●	●	●	●	●	●	011101
居住平米/満足度	●	●	●	●	●	●	011102
家計							011200
公的年金受給の有無/受給額	●	●	●	●	●	●	011201
過去1ヶ月の収入の有無/収入の内容/金額	●	●	●	●	●	●	011202
過去1ヶ月の家計支出額	●	●	●	●	●	●	011203
借金の有無/金額	●	●	●	●	●	●	011204
預貯金の有無/金額	●	●	●	●	●	●	011205

